

【法人概要】

2024. 6. 1現在

フリガナ	キョウトカンゼカイ	代表者役職名	会長		
団体名	公益社団法人 京都観世会	フリガナ	カタヤマキヨシ		
		代表者氏名	片山 清司		
郵便番号	606 — 8344	電話	075-771-6114		
住所	京都府 京都市左京区岡崎円勝寺町 4 4	e-mail	info@kyoto-kanze.jp		
		ウェブサイト	http://www.kyoto-kanze.jp		
団体の種類	公益社団法人				
団体設立年月	1918/11	法人設立年月	1956/03	法人番号	1130005012308
団体の事業目的	能楽を後世に伝えることを目的に設立された能楽堂の維持・運営をおこない、関西の中核的な伝統芸能の魅力発信拠点として幅広く多くの人に上質で多彩な公演の鑑賞機会を提供し、能楽の保存継承と普及振興を図り、能楽の隆盛はもとより、日本の芸術文化の興隆に寄与することを目的とする。 併せて能楽道具の保存・伝承や調査・研究の推進を通じて文化の向上・発展にも資することとする。				
団体の将来像	幅広く多くの人に伝統芸能の魅力や価値を享受いただくため、当会の有する進取の気風を活かして振興に向けた先駆的な取組みを行い、多様な公演と多彩な事業を展開し、各地の方々から年間を通じて京都観世会館へ行けばいつでも伝統性を踏まえた舞台を観ることができるという安定性・信頼性を備えた公益性の高い事業活動を発展させていく。 また継承と育成をキーワードに、会員能楽師が演者としての更なる研鑽と後継者育成に取組むとともに、観客育成についても愛好者・支援者の維持増加と新たなファンを増やす裾野の拡大と育成を図る取組みを進め、能楽の将来をも見据えた将来世代へつなげる持続的な基盤整備を強化して、伝統芸能の価値継承の役割をもつ団体として社会的使命を果たしていきたい。				
組織	役員		団体構成員及び加入条件		
	会長 片山清司(片山九郎右衛門) 副会長 大江将薫(大江又三郎) 専務理事 井上周久(井上裕久) 理事 青木道喜 河村和重 古橋正邦 河村晴久 杉浦豊彦 浦田保浩 味方 玄 浦田保親 吉浪壽晃 片山伸吾 分林道治 橋本光史 大江信行 木村美樹 深野貴彦 橋本世志子 監事 福井芳秀 熊谷進三 山下麗雄	〔団体構成員〕 (1) 団体構成員 「役員」理事19名 監事3名 「会員」正会員54名 準会員9名			
			〔加入条件〕 入会申込者は理事会において入会の可否を決定し本人に通知する。		
沿革	大正7年(1918年) 観世の関西の基盤として京都観世会が発足し、能の定期的な催しを開始。 昭和31年(1956年) 主として京都在住の観世流能楽師の団体として活動してきた京都観世会を社団法人京都観世会として改組。 昭和33年(1988年) 能楽堂「京都観世会館」を建設。併せて同年から月刊誌「能」を発刊(通巻760号を超え今日に至る) 以来、地方における唯一の独立した観世流の能楽法人として独自のユニークな企画運営を行い豊かな活動を展開している。 平成23年(2010年) 民間公益活動を担う団体として公益認定を受け「公益社団法人京都観世会」と名称変更。				